Ⅰ．学校研究全体計画

**研究主題**

児童が数学的な見方・考え方を働かせる授業をめざして

**１．主題設定の理由**

　　本校は，令和３年度から小松市学校研究活性化推進事業　学力向上推進事業（算数科授業力向上）の指定を受け，研究協力校として，昨年度は，「豊かな心と確かな学力を備えた，心身ともにたくましい児童を育成」という教育目標のもと，目指す児童像を「すすんで学ぶ子」「思いやりのある子」「じょうぶな子」とし,「知・徳・体」の調和のとれた児童の育成を目指してきた。

学校研究では一昨年度より「小松市学校研究活性化推進事業」（小学校算数）の指定を受け，「算数の学習に主体的・対話的に取り組む児童」を目指す児童像とし，「児童が主体的・対話的に学び，力をつける授業をめざして」を研究主題として，「中海スタンダード」を土台に，単元構想や内容の系統性を見える化した単元計画の研究を進めてきた。昨年度までの成果と課題は以下の通りである。

○成果

中海スタンダードを共通実践したことで，学校全体で基本的な授業の流れを共有することができ，児童

は見通しをもって授業に参加することができた。単元構想を重視したことで，「知識及び技能」をねら

いとする授業では，適用題で活用できるように「数学的な見方・考え方」を一人一人の頭に確実に通す

活動が必要であることや，確実に評価をして次の指導に活かすことの重要性が見えてきた。

●課題

自力解決や話し合い活動における児童の表現の幅は広がってきたが，児童の発言や発表が主となって授業が展開するという段階には至っていない。アウトプットが真似や作業になってしまわないように，ねらいに応じた適用題を解いたり説明をしたりするために必要な「数学的な見方・考え方」のよさを実感させる必要がある。単元末テストの「思考・判断・表現」の観点でＢ基準に至らない児童が多く見られる。

昨年度までの検証より，「知識・技能」の観点においては定着が見られるものの，「思考・判断・表

現」の観点ではB基準に至らない児童が多い。また，単元計画の中に「児童のゴールの姿」を位置付け

たが，客観的な姿だけでなく，児童がゴールの姿になるまでの「数学的な見方・考え方」を働かせた思

考を具体的にイメージしておく必要があることも見えてきた。よって本年度は研究主題を**「児童が数学的な見方・考え方を働かせる授業をめざして」**とし，教材研究によって明らかにした「数学的な見方・考え方」が授業の中で働かせられるように，指導案や単元構想の中に反映させることを共通実践していきたい。また，検証には単元末テストだけでなく石川県教育委員会が作成している「活用力をはかる評価問題」を活用し，児童の力の定着を適切に見取ることで日々の授業改善に役立てていきたい。

**２．研究の内容**

（１）研究の重点

**「中海スタンダード」の共通実践**

①主体的に考える学習の工夫

　　・児童の困りをもとにした課題の設定

・友だちの考えを自分のものにするアウトプット（図や言葉を使って）

・課題からつながる児童の言葉によるまとめ

②考えを深め広げる対話的な学び合いの工夫

・話す力，聞く力を土台とした目的をもった話し合い活動

・学びを深めるための思考の見える化

③学びを自覚する振り返り活動の工夫

・変容を自覚し，発展へとつなげる振り返り

**「どの時間にどの力をどのようにつけるか」を明確にした教材研究および授業デザイン**

　　①単元構想メモの活用

　　・ゴールとなる具体的な姿に向かう単元構想

　　・ゴールに向かうための過程を大切に（数学的な見方・考え方をしていたか）

指導案の中に「見える化」

　　②内容の系統性

　　・単元名のみでなく，内容での学年間の系統性を意識

（２）検証

①児童の姿，ふり返り

授業の中での児童の姿や児童のふり返りの内容が目指す児童像に近づいているかの検証を行う。

　②単元末テスト及び各種学力調査

　　知識及び技能と思考力・判断力・表現力等が身に付いているかを検証する。

　　追跡調査を行い，力が定着しているかを検証する。

**３．研究組織**

研究推進委員会が中心となり研究の方向や進め方を提案し，各部との連携を図りながら実践を進める。

全体会　　全体協議を通し，研究の進め方について共通理解を図り，研究の方向・方法を決定する。

　　　　　　授業研究の事前研や授業整理会をしたり，講師を招いたりして研究を深める。

部会 　　共通実践のフィードバック，授業研究のための教材研究，指導案の検討を行う。

低学年部会　　横山・坂口・田上・笠谷・櫻井

高学年部会　　霜・谷鋪・小林・千歩・教頭

研究全体会

研究推進委員会

校長・教頭

櫻井・横山

田上・谷鋪

このほか，共通実践のフィードバックのための低・中・高学年に分かれたブロック会を定期的に行う。

４．中海スタンダード

１．問題の把握

つかむ

問題提示はスピード感を持って！イメージをもたせて！

何に困っているのかをはっきりさせる！

２．課題の設定

困りや学習内容の発展性への気づきを児童の言葉で！

どうなったらゴールか，Bの姿を示す！

３．自力解決

まずは自分で何かを表現させる！

この間に児童の考えを把握！→話し合い活動のコーディネートへ

ふかめる

４．話し合い活動

話し合う目的を明確に！

目的に合わせて形態を工夫！

５．共有

ただの発表会や「分かりました。」で終わらせない！

☆自分の言葉で言ってみる！図を使ってみる！（説明）

☆友だちの考え方を自分でやってみる！（プチ自力解決）

まとめる

☆条件や数が変わってもできるか？（検証）

６．まとめ

児童の言葉を使って簡潔に！課題とリンクさせて整合性を！

７．練習題・適用題

ふり返る

力がついたかを確認し，指導に生かす！

８．ふり返り

機会をしぼり，学びや変容を自覚させる！

①授業の前と後で変わったこと

②さらにできそうなこと，やってみたいこと

**５．研究の全体構想図**

**学校教育目標**

「児童の主体性を育成する」豊かな心と学ぶ力を身につけた，心身ともにたくましい児童の育成

**研究主題**

**児童が数学的な見方・考え方を働かせる授業をめざして**

**目指す児童像**

**☆****数学的な見方・考え方を働かせる児童**

・図・式・言葉など，何かをかいて自分なりの考えをもとうとする

・自分の考えを伝えたり、友だちの考えのよさに気づいたりして，自分のものにしようとする

・課題の発展性やさらなる疑問を考えたり，条件や数が変わってもその方法は使えるのかを考えたりしようとする

**児童が数学的な見方・考え方を働かせる授業へ向けた授業改善**

**中海スタンダードの実践**

①主体的に考える学習の工夫

②考えを深め広げる対話的な学び合いの工夫

③学びを自覚する振り返り活動の工夫

**つけたい力を明確にした単元構想**

①単元構想メモの活用

②内容の系統性

**授業力・指導力の向上**

授業交流・若プロ研修（OJT）

**連動**

**学力向上**

【基礎基本の定着】

朝学習

（視写・読解・図をかくトレーニング）

【家庭学習の充実】

家庭学習がんばり週間

**学力向上**

**集団づくり**

【学習基盤】

授業の三か条　正しい姿勢　チェック１０

【聞く・話す態度】

話しマスター・聞きマスター

【共感的な学級づくり】

コミュニケーションタイム

Q―Uテストの分析→学級経営案の作成

**集団づくり**

Ⅱ．研修計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時期 | 内容 | 講師等 |
| ４月 | ７日 | 第１回研究全体会　教材研究（３年）　 | 主任指導主事 |
| 21日 | 第２回研究全体会　指導案検討（３年）　 | 主任指導主事 |
| 26日 | 研究授業（３年）　第３回研究全体会　授業整理 | 主任指導主事 |
| ５月 | 上旬 | 第４回研究全体会　指導案検討（６年）　 |  |
| 中旬 | 第５回研究全体会　模擬授業（６年）　 |  |
| 31日 | 計画訪問　全体授業（６年）授業整理　共通実践のフィードバック |  |
| ６月 | 中旬 | 第６回研究全体会　指導案検討（５年） | 指導主事 |
| 下旬 | 第７回研究全体会　模擬授業（５年）共通実践のフィードバック |  |
| ７月 | 上旬 | 学力向上推進事業－算数科授業力向上―公開授業（５年）第８回研究全体会　授業整理 | 指導主事 |
| 中旬 | 共通実践のフィードバック |  |
| 下旬 | 第９回研究全体会「一学期の成果と課題について」 |  |
| ８月 | 上旬 | 校内研修会 |  |
| 下旬 | 第１０回研究全体会「二学期の共通実践について」 |  |
| ９月 | 中旬 | 第１１回研究全体会　指導案検討（１年） | 主任指導主事 |
| 下旬 | 第１２回研究全体会　模擬授業（１年）共通実践のフィードバック |  |
| １０月 | 上旬 | 研究授業（１年）第１３回研究全体会　授業整理 | 主任指導主事 |
| 下旬 | 共通実践のフィードバック |  |
| １１月 | 上旬 | 第１４回研究全体会　指導案検討（２年） | 主任指導主事 |
| 中旬 | 第１５回研究全体会　模擬授業（２年） |  |
| 下旬 | 研究授業（２年）第１６回研究全体会　授業整理　共通実践のフィードバック | 主任指導主事 |
| １２月 | 下旬 | 第１７回研究全体会「研究のまとめ・二学期の共通実践について」共通実践のフィードバック |  |
| １月 | 上旬 | 第１８回研究全体会　指導案検討（４年） | 指導主事 |
| 中旬 | 第１９回研究全体会　模擬授業（４年） |  |
| 下旬 | 学力向上推進事業－算数科授業力向上―公開授業（４年）第２０回研究全体会　授業整理　　　共通実践のフィードバック | 指導主事 |
| ２月 | 中旬 | 第２１回研究全体会「今年度の研究の振り返り・来年度へ向けて」 |  |
| 下旬 | 共通実践のフィードバック |  |
| ３月 | 下旬 | 共通実践のフィードバック |  |